

太白区ママたちの 事故体験談の巻



1. ソファから転落!

子どもは、5か月くらいから寝返りをし始めます。ソファに寝かせていたらいつの間にか寝返りをして転落したという事故もあります。

対応 子どもはある日突然寝返りをしたり、歩き出したりします。子どもの成長を見越した安全な環境を作りましょう。

2. 入浴時、大人が頭を洗っている間に 子どもが浴槽で転んだ!

目を離れた瞬間に、子どもがお風呂で溺れた・首浮き輪を使用しているにもかかわらず溺れたという事故もあります。

対応 この時期の子どもは、立ち上がりや歩行が不安定です。目を離すときは子どもを浴槽に入れない、家族と協力するなど、安心できる環境で入浴しましょう。

3. 鍋に入っていたお湯がかかり やけどした!

子どもは好奇心旺盛で、様々なものに興味を持ちます。テーブルの上の味噌汁に手をのぼしたり、ストーブに触れたりしてやけどする場合があります。

対応 熱いものは子どもの手の届かないところへ置きましょう。テーブルクロスは、子どもが引っ張って、上に載っている容器を倒す原因になりやすいので使わないようにしましょう。やけどをした場合は、流水が氷ですぐ冷やしましょう。服を着たままやけどをした場合は、服の上から冷やしましょう!



4. タバコの吸いがらを食べてしまった!

子どもの誤飲事故の原因第1位はタバコです。タバコの誤飲は急性ニコチン中毒を引き起こすことがありとても危険です。加熱式タバコにもニコチンが含まれているため、注意が必要です。

対応 タバコや灰皿は、子どもの手の届かないところで保管しましょう。タバコを誤飲した場合は、何も飲ませずに吐かせて、すぐに病院を受診しましょう。

5. ドアのちょうつがいには手をはさんだ!

子どもがドアのちょうつがい側の隙間に手を入れていることに気づかずドアを閉め、ケガをすることがあります。

対応 ドアや窓の開閉時には、子どもがどこにいるか確認しましょう。ちょうつがい側には、隙間防止カバーを利用しましょう。

不慮の事故は子どもが亡くなる原因の上位にあります。全国的にみると、不慮の事故による死亡原因は、0歳代では窒息、1~4歳代では、窒息、溺死・溺水が多くなっています。

R5年度 太白区乳幼児の事故実態調査

★6~7人に1人は病院受診が必要な事故を経験していました!

★多かった事故は

0歳 1位:転落 2位:転倒 3位:やけど

1歳代 1位:転倒 2位:転落 3位:やけど

2,3歳代 1位:転倒 2位:転落 3位:ぶつかる

その他に、切る・刺す、誤飲、はさむといった事故が多かったです。

子どもに起こりやすい事故を知って、安全・安心な環境を整えていぎましょう!

太白区保健福祉センター 家庭健康課

住所/仙台市太白区長町南3丁目1-15

電話/022-247-1111

子どもの事故予防

ねんね~よちよち期 (0歳~1歳6か月頃)

ホッ

と安心・安全な
環境を!



からだもこころも大きく成長し、1歳頃には生まれた時から身長は約1.5倍、体重は約3倍にもなります。0歳代は転落が多く、行動範囲が広がってくると転倒ややけど、誤飲が増えてきます。身近なところから、安心な環境を目指して事故予防に取り組んでいぎましょう。

太白区家庭健康課

乳幼児の事故予防ワーキングメンバー作成

危険箇所を確認の巻



①ソファからの転落 →事故体験談1へ

②お風呂場での転倒や溺水 →事故体験談2へ

③鍋、炊飯器、ヘアアイロンでやけど →事故体験談3へ

④タバコの誤飲 →事故体験談4へ

⑤ドアに手をはさむ →事故体験談5へ

⑥ハイローチェアからの転落

→ハイローチェアのベルトを使用せずに転落したという事故が多くあります。使用方法を守り、安全に使いましょう。

⑦枕や布団での窒息、ベビーベッドからの転落

→柔らかすぎる布団は顔が埋まってしまい、口や鼻が塞がれてしまいます。敷布団は固めのものを準備しましょう。また、ベッド柵は必ず一番上まであげて使いましょう。

⑧床に落ちているものを誤飲

→手にしたものは何でも口にもっていく時期です。乳幼児の口径は39mm前後、飲み込める長さは約51mmと言われています。子ども目線で危険なものはないか確認しましょう。

⑨階段からの転落

→自由に上り下りができないよう柵をつけましょう。一緒に上り下りする際は、子どもの手を取るか、横か下側を歩きましょう。

⑩浴室に子どもが簡単に出入りできる

→鍵をつけ、自由に子どもが出入りできないようにしましょう。浴槽内に水を溜めたままにせず、蓋はたわみにくくしっかりしたものを選びましょう。

⑪洗濯機の中で遊ぶ

→特に、ドラム式洗濯機は蓋が子どもの手の届きやすい位置にあります。中に入って閉じ込められないよう蓋は閉め、ロックをかけましょう。

⑫床や低い棚に洗剤を置いている

→子どもの手の届かない場所に保管しましょう。

安全チェックの巻



ねんね期/項目	チェック欄
① フカフカの枕や布団は使用していない	
② ベッドの柵は必ず上げている	
③ ソファの上に赤ちゃんを寝かせたまま目を離すことはない	
④ 赤ちゃんを抱いたまま熱い物を食べたり、飲んだりしない	
⑤ 入浴の際、蛇口から急に熱いお湯が出ることはない	
⑥ 赤ちゃんの周りにはポットや炊飯器を置いていない	
⑦ 赤ちゃんの周りに口の中に入るような小さなものは置いていない	
⑧ 赤ちゃんだけを置いて家を留守にすることはない	
⑨ 自動車に赤ちゃんを一人だけにしておくことがない	
⑩ ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している	

よちよち期/項目	チェック欄	
	1回目	2回目
① 子どもを1人で家や車に残さない	/	/
② 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている		
③ 浴槽に水をためたままにしない		
④ 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く		
⑤ タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く		
⑥ ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く		
⑦ 暖房用具(ストーブ・こたつなど)の熱が直接触れないようにしている		
⑧ ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く		
⑨ ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している		
⑩ 階段に転落防止用の柵を取り付けている		

健やか親子21 事故防止対策より

トイレットペーパーの芯と
ほぼ一緒なんだニャ!

この円の中を通る物は
子どもの口に入ります
(直径39mm)
この円より小さいものは
手の届くところに
置かないように
注意しましょう



子どもをそっと見守るネコ忍者

他にも危険なことが
潜んでいるニャ。
子ども目線で家の中や外の
危険がないかみてみよう!

